

令和2年度第1回唐津市行政改革推進会議 会議概要

(令和2年12月21日開催)

1 会議での主な意見・提案等

- (1) 令和2年度行政評価について
- (2) 行政改革課の取り組みについて（補助金の見直しについて）

主な意見

- ・唐津市の補助金は、公益を達成できているのか疑問な部分があります。もう少しシビアに評価すべき部分があるのではないではないかと考えます。
- ・今後収入を増やすことは厳しいと思われるため、支出を抑えることが大事だとは思いますが、補助金が有効に使われるのであればいいことだと思います。しかし必要ないところに支出しているお金があるのであれば減らすべきだと思います。
- ・農業と漁業の達成度が低いと、農業、漁業の達成度を高めていくための新たな取り組みに期待します。
- ・事業の達成度に職員や利用者の満足度を数値化した目標が必要と感じます。数値目標として適切かどうか疑問が残る指標があります。
- ・子育てを行ううえで、一時的にベビーシッターをお願いできるようなところが唐津市にはないため、そういった施設が唐津市があればいいと思います。
- ・唐津市が国の給付金制度に漏れた令和2年度に生まれた子供に対して給付金を出した制度はとても感銘を受けた。こういった取り組みが続けば、唐津市で子育てを行いたいという人が増えるのではないかと思います。
- ・大学がないので、18歳で市外に出るのは仕方ないことだとは思いますが、そういった方が戻ってきたいと思える、若い人が働ける職場を作ることが大事だと考えます。
- ・企業誘致も引き続き行って欲しいですが、定住促進のための施策をもっと行って欲しいと考えます。
- ・観光地にもかかわらず、フリーWi-Fiもほとんどない状況です。若い人が唐津へきて、情報発信をすぐに行おうとしてもそういった設備がないのがとてももったいなく感じます。
- ・高齢化が進むなかで、今までと同じ行政運営では厳しいと思います。高齢者のための行政運営に軸を変更しないといけないのではないかと考えます。

2 今後の対応

- ・会議の結果は市のホームページで公表するとともに、関係各課と共有し、今後の取り組みの参考とする。